

\*\*\*\*\*

## 多面的機能支払 メールマガジン 「農村ふるさと保全通信」 第114号(2022. 7. 8)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

\*\*\*\*\*

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第114号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、①外来種駆除を通して生態系保全や農業への地域の理解が深まり、活動が評価され県知事賞を受賞した組織、②住宅地に近い立地を活かして、小学校やJAなどと協力し、子どもたちが自然や農業に触れる機会を提供している組織、③ナベツルやコウノトリといった貴重な野鳥が飛来しやすい環境づくりのため、生物の生息調査に力を入れている組織について紹介します。また、女性役員へのインタビューでは、ご近所との「結い」の精神で、あじさいの植栽に力を入れ、それがメディアに取り上げられたことにより、多くの方が地域を訪れるようになった活動組織について紹介します。事務局からは共同活動における事故防止に加え、平成28年度分のメルマガの掲載が再開したことについてご紹介します。

### ---第114号の目次-----

#### 1. 活動組織の紹介

☆新田<sup>しんでん</sup>広域協定運営委員会（愛知県<sup>にしお</sup>西尾市）☆

☆田原<sup>いわた</sup>みどり会（静岡県<sup>いわた</sup>磐田市）☆

☆太田川<sup>おおたがわ</sup>地域保全協議会（徳島県<sup>あなん</sup>阿南市・小松島市<sup>こまつしま</sup>）☆

#### 2. 女性役員へのインタビュー

☆赤沢<sup>あかさわ</sup>3区環境を守る会（岩手県<sup>しわちよう</sup>紫波町）☆

#### 3. 共同活動における事故防止について ～作業前の安全確認の徹底を！～

4. 「ディスカバー農山漁村の宝アワード（第9回選定）」（8月26日受付締切！）
  5. 平成28年度分のメルマガの掲載が再開しました！  
（編集後記）
-

## ■ 1. 活動組織の活動紹介(1)～新田<sup>しんてん</sup>広域協定運営委員会(愛知県西尾市)<sup>あいちけんにしお</sup>～

### ～地区概要～

本組織の活動拠点は、愛知県の中央を流れる矢作川<sup>やはまがわ</sup>の下流域に位置する。5つの新田耕作委員会を主体とし、各町内会や子ども会などと連携して活動している広域組織である。

活動範囲は田 429ha、畑 142ha であり、対象施設は開水路 124.9km、パイプライン 55.1km、農道 118.9km となっている。

### ～主な取組～

- ◎本地域では、外来種であるジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)が水路や水田で繁殖し、稲への食害に悩まされていました。このことから、地域で対策に取り組む必要があると考え、ジャンボタニシの駆除活動をより精力的に実施するようになりました。
- ◎また、地域の生態系に興味・関心を持ってもらう良い機会と捉え、地元の小学生を対象として生き物調査を実施(外来種は駆除。)し、捕獲した生き物を持ち帰り、学習に活用しました。
- ◎こうした活動により、地域内のジャンボタニシによる食害が徐々に減少していきました。また、地域の生態系保全に対する意識向上に繋がり、地域のふれあいの場が生まれました。
- ◎これらの活動が評価され、愛知県と愛知県土地改良事業団体連合会が共催の「農地・水・環境のつどい(令和2年度)」において、愛知県知事賞(農村環境保全活動部門)を受賞しました。今後も活動を通じて、地域の農業への理解をますます深め、次世代へ続くように役立てていきます。



ジャンボタニシの  
駆除活動1



ジャンボタニシの  
駆除活動2



小学生と生き物調査

【新田<sup>しんてん</sup>広域協定運営委員会 会長 西村 良雄】

## ■ 1. 活動組織の活動紹介(2)～田原みどりの会

(静岡県磐田市)～■

### ～地区概要～

静岡県磐田市の住宅地とのどかな田園風景が交わる田原地区を拠点に活動している。活動範囲は田 103ha、畑 8ha であり、対象施設は農道 17km、開水路 26km。

### ～主な取組～

◎本組織は、12 年ほど前、地元の農家を中心に発足しました。地域の農業用排水路の維持・保全のため、水路や農道などの草刈りといった活動を続けてきましたが、発足当初から農家の高齢化に伴う担い手不足と、遊休農地の増加に頭を悩ませていました。そこで近年、地元の JA や交流センター、小学校、幼稚園などと連携し、野菜の栽培や稲作の体験を始めました。

◎小学校のすぐそばにある遊休農地を利用し、小学 1、2 年生はサツマイモを、3 年生は大豆を栽培しました。5 年生はバケツを使ってもみまきや田植えをしたり、秋には田んぼで収穫した稲を古い足踏み脱穀機で脱穀したりと、米づくりを体験しています。

◎住宅地が広がり、核家族も増えている田原地区において、田畑がそばにあるという立地条件を生かし、子どもたちが自然や農業に触れる機会を地域全体で創出しています。この子どもたちを見守り、育てようという雰囲気、地区の未来を明るく照らしてくれればと思うところです。

◎最近では、農家になりたいという児童も現れました。これからも、子どもたちが大人になっても変わらない景観を守るため、「田原みどりの会」の活動は続けていきます。



水路の泥上げ



さつまいも収穫体験



小学5年生稲刈体験



田原みどりの会の皆様

【田原みどりの会】

## ■ 1. 活動組織の活動紹介(3)～<sup>おたがわ</sup>太田川地域保全協議会(徳島県<sup>あなん</sup>阿南市・<sup>こまつしま</sup>小松島市)～ ■

### ～地区概要～

徳島県<sup>あなん</sup>阿南市北部と小松島市南部の<sup>なか</sup>那賀川水系により形成された三角州に広がる平野部に位置し、水稻を中心にほうれん草、キャベツ、キュウリ、ブロッコリー等の栽培が行われている。本組織は平成 19 年度より活動している。活動範囲は田 111ha、畑 1ha であり、対象施設は農道 9.3km、水路 40.7km となっている。

### ～主な取組～

◎農業者のほか非農業者にも呼びかけ、農地維持活動として農用地周りの草刈りや水路の泥上げ作業を行うなど、地域全体で活動に取り組んでいます。また、年 1 回農業者の検討会として話し合いの場を設けており、集落の代表者は事前に各集落の意見を集約し、農地の利用集積や担い手との連携強化等について意見交換を行っています。その他、広報活動として水土里ネット徳島のHPに活動内容等を掲載しています。



農業者の検討会

◎資源向上活動として農村環境保全活動の生物の生息状況の把握に取り組んでいます。以前より飛来が確認されていたナベツル及びコウノトリが飛来しやすい環境作りを行うために、平成 26 年度より生物の生息状況の把握を開始しました。活動開始当初より日本野鳥の会からの助言を受け、野鳥の餌となる生物の生息状況を毎年継続して調査しており、例年約 70 種類の生物が確認されています。生物調査の結果を取りまとめた後、本組織構成員を対象に勉強会を実施しており、野鳥への理解促進や継続的な活動への意欲向上に繋がっています。地域全体で農業のあり方について考え、美しい田園風景を今後も維持できるように活動に取り組んでいきたいと考えています。



生物の生息状況の把握

<sup>おたがわ</sup>太田川地域保全協議会・<sup>あなん</sup>阿南市農地整備課・<sup>こまつしま</sup>小松島市農林水産課】

## ■2. 女性役員へのインタビュー

### ～<sup>あかさわ</sup>赤沢3区環境を守る会(岩手県<sup>しわちよう</sup>紫波町)～■

#### ～ 組織の概要 ～

本組織は岩手県のほぼ中央に位置する<sup>しわちよう</sup>紫波町において、主に<sup>ぶどう</sup>葡萄と<sup>りんご</sup>林檎の栽培が盛んな中山間地域を活動拠点としている。活動範囲は田 24ha、畑 34ha であり、対象施設は水路 9.1km、農道 13km、ため池 5カ所。本活動組織の開始時期は平成 19 年度からであり、設立して 16 年目となっている。

#### ～ インタビュー ～

○岩手県<sup>しわちよう</sup>紫波町で活動している「<sup>あかさわ</sup>赤沢3区環境を守る会」で活躍している地域のお母さん達にインタビューしました。



<sup>しわちよう</sup>岩手県紫波町

Q： 組織の活動概要について教えてください。

A： 農村環境保全活動で、主にあじさいを植えています。あじさいの手入れは大変で、地域の役員さんを中心とした男性陣の他、この地域では女性陣も頑張っています。道路沿いにあじさいを定植して「赤沢あじさいロード」として、観光スポットにもなっており、地域を盛り上げています。あじさいの植栽をしてから、口コミで広がり、福祉関係の車が通るようになり、ラジオ、TV でも取り上げられて、あじさいを見に来る方も多くいます。



インタビューに協力してくれた方々

Q： あじさいを植えるきっかけを教えてください。

A： 約 30 年前、この地区の公民館長さんが他の地域であじさいを植えているのをみて感動し、この地区でも出来ないかと思い一念発起、<sup>いちねんぼつき</sup>1 人であじさいを植え始めたのがきっかけです。その後、農地・水保全活動（本交付金活動の前身）により、平成 30 年に約 3,000 本あったあじさいは、今や 5,000 本にまで増えました。

Q： 組織を運営する中で苦労したことはありますか？

A： 苦労はあまり感じません。本組織は小さな組織なので、お互いに気配りしながら、まとまって活動が行われていると感じます。

Q： 活動に女性が多く参加しているようですが、女性が参加することでよかったと感じることはありますか？

A： 婦人会の活動など（花植え等）で作業に慣れているので、参加していただくと手の行き届かない細かい作業の効率があがります。また、女性が参加することで活動中の雰囲気も和みます。夫婦仲良く参加している家庭もあり、夫婦円満の秘訣となっているのではないのでしょうか。

Q： 本交付金に関してどのように感じていますか？

A： 水路整備関係については、長寿命化の取組で、水路の更新をおこなうことができ、非常に助かっています。また、災害時は、自分たちで迅速に動けるという点においても絶対に必要なものだと感じております。しかしながら、この先もこれまでのように運営していく上で、後継者・担い手不足は本組織でも課題となっています。若い世代に参加の強制はできませんが、このような活動を行っていることは伝えていきたいと思っています。この活動をきっかけにご近所さんとのコミュニケーションがとれることもいいことの一つです。「結い」の精神を大事に活動したいと思っています。

Q： 役員に女性が就いたきっかけを教えてください。

A： 役員に就いたきっかけは代表からのお誘いですが、それと同時に自分たちで



活動地域に咲くあじさい



赤沢あじさいロード1



赤沢あじさいロード2

何とか地域を守っていきたいという思いを持って役員に就きました。

地区内の女性の中でこの人が先立ちであれば女性の皆さんも協力してくれるだろうという方を選出し役員になっていただいたそうです。

Q： 活動組織内での女性役員の役割を教えてください。

A： これまで携わった女性役員（会計及び監事）は2人になります。

現役員では会計を担っておりますが、かなり複雑な事務処理、ある程度のパソコンの知識がないと非常に難しいと感じています。

Q： 活動に多くの女性が参加したきっかけはなぜでしょうか？

A： 地域に深く根付いている婦人会の活動を基に、本活動においても協力してほしいと当時の代表から声かけがあり参加したのが始まりです。普段から自主的に地域の活動に参加するという意識が高いことから、多くの女性が快く参加してくれます。

Q： 今後の活動意向について教えてください。

A： コロナのために2年連続（令和2、3年）で「あじさい祭り」を中止しているところですが、地域活性化のためにも今後復活させていきたいと思っています。また、今後とも多面の活動を継続していくため、担い手育成への取組や研修、講習会への参加等を促していきたいと考えています。

<sup>あかさわ</sup>【赤沢3区環境を守る会・東北農政局】：<sup>あかさわ</sup>《赤沢3区環境を守る会代表》阿部宏希さん、  
《副代表》藤原雄二さん、《会計役員》藤原有希子さん、  
《構成員》作山キクさん、《構成員》似里豊子さん、  
《構成員》藤原信子さん



### ■3. 共同活動における事故防止について ～作業前の安全確認の徹底を！～■

今年度に入り事故報告の件数がすでに 35 件（令和4年7月現在）となっております。事故報告の内容では活動中の転倒・転落や草刈機との接触などが多くなっております。農林水産省では安全確認の徹底や事故発生防止を目的に「共同活動の安全のしおり」をHPで掲載しております。「共同活動の安全のしおり」には安全確認チェックリストや草刈作業中の留意点、事故例などを掲載しております。ぜひご確認していただくとともに、これからは暑い季節に入りますので、熱中症予防の観点から、活動参加者で声かけや、こまめな水分補給を意識的にこなっていきましょう。

「共同活動の安全のしおり（農林水産省 HP）」はこちら↓

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen\\_siharai-9.pdf](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-9.pdf)

共同活動の安全のしおり表紙



【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

#### ■4. 「ディスカバー農山漁村の宝アワード(第9回選定)」(8月26日受付締切!)■

前号の113号でもお知らせした「ディスカバー農山漁村の宝アワード(第9回選定)」の募集締め切りは8月26日となっております。「ディスカバー農山漁村の宝」は農山漁村の活性化に取り組む優良事例を選定・表彰し、全国に発信する取組です。選ばれた地区(者)は、選定証授与式等の式典に招待されます。

募集は、「団体部門」と「個人部門」に分けて受け付けています。過去には多面的機能支払交付金を利用している活動組織も選定されています。団体部門と個人部門との重複応募も可能ですので、ぜひ、ご応募ください!



▽応募期間▽

令和4年度8月26日(金)まで

▽詳細・応募方法▽

ディスカバー農山漁村の宝特設ホームページ

<https://www.discovermuranotakara.com/>

【農林水産省 都市農村交流課】

## ■5. 平成 28 年度分のメルマガの掲載が再開しました！■

6月30日より、公開準備中になっていた平成28年度分のメルマガ記事の掲載を再開いたしました。是非下記のURLからご確認ください！

皆様には大変長らくお待たせいたしました。申し訳ありませんでした。平成29年度に掲載された分に関しては、現在も公開に向けて準備しております。

☆☆多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」↓☆☆

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai/nouson\\_furusato\\_hozen/index.html](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html)

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

## ■ 編集後記 ■

読者の皆様こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。6月19日に石川県で発生した最大震度6弱の地震によりため池に亀裂が入るなど、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

7月に入り、毎年季節の移り変わりが早くなっているように感じます。気温が30度を超える日が続き、すっかり季節は夏になりました。出勤時には朝から暑くて汗が止まらないです…。特に熱中症と夏バテには気をつけようと、こまめな水分補給やクーラーの適度な使用、栄養バランスを考えた食事をするように心がけています。皆様も暑い中での作業で、熱中症にはお気をつけください。

夏休みを利用し、地元に戻ろうと思っています。海でたくさん泳いで、夏ならではのBBQやマリンスポーツを計画しております。皆様とともに今年の夏を楽しめたらなと思っています。それでは次号もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai/nouson\\_furusato\\_hozen/index.html](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html)

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen\\_siharai-31.pdf](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf)



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen\_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1  
農林水産省農村振興局整備部農地資源課  
多面的機能支払推進室（担当：近藤、藤原）  
TEL：03-3502-8111（内線5493）  
-----